

2023年7月12日
クニミネ工業株式会社

取締役会の実効性に関する評価結果の概要

当社取締役会は、2023年3月期を評価対象期間として、取締役会の実効性に関する分析・評価を実施しましたので、その評価結果の概要を公表いたします。

1. 評価の実施要領

対象者	2023年3月時点での全取締役（計10名）
実施方法	全取締役を対象とした無記名式アンケート
質問内容	取締役会の構成・取締役会の運営・社外役員に対する情報提供等に関する設問および前回の課題改善状況ならびに自由記載によるアンケート
評価方法	アンケート結果を集計・分析したうえ、取締役会において評価および課題を確認

2. 評価の内容および今後の取り組み

当社取締役会は、多様な経験、専門性をもつ社外役員を含む取締役は、自身が果たすべき役割を十分に理解して意見を述べ、審議・意思決定を行っていることから、取締役会の役割を適切に果たし、取締役会の実効性は全体として概ね確保されていることを確認しました。

なお、前回認識した課題に関する取り組みの内容や今回の評価内容、また、さらなる実効性の向上のため認識した主な課題等は別紙の通りであります。

以上

(別紙) 主な課題および取り組み方針等

評価項目	2022年		2023年3月評価		2023年度
	課題	実施した取り組み	評価内容	今後の課題	取り組み方針・内容
取締役会の構成	多様性を意識した取締役の招聘が必要。	専門的な知見を有する社外取締役の選任を進める。	専門的知見を有する新任の社外取締役を招聘し、中長期的な資質の確保が図られた。	さらなる多様性確保に向けた取締役の選任の検討が求められる。	さらなる多様性の確保に向け、例えばスキルマトリックスを用いた取締役会の構成に関する分析を実施するなど、議論のさらなる活性化を推進する。
取締役会の運営・情報提供	対処および重視すべき課題の議論に時間を割くために、報告に関する資料および説明については、重点事項に焦点を絞ることが必要。	報告に関する資料は重点項目をまとめた文書を提出するとともに、説明についても目安の時間を設ける。	資料の情報量については改善が見られたものの、当日の報告に関しては時間が取られており、審議事項に関する時間が足りないと感じる。	報告時間のスリム化および審議時間の確保に向け、取締役会以外の場で事業理解を深めるための情報提供の機会を設けることが求められる。	経営委員会資料の配布や、社外取締役と業務執行部門の懇談会を開催するなど、事業理解を深める施策を推進し、報告時間の短縮化を図る。
議論の内容・幅	リスク管理面における情報は整理されているものの、対策等に関するさらなる議論の活性化が必要。	危機管理委員会において協議し、取締役会にて報告する。	安全・衛生に関して取締役会への報告を実施し、情報の充実化が図られた。	災害等の安全に関するリスクのみならず、人材育成等のサステナビリティの観点も取り入れた多面的なリスク管理が求められる。	リスク管理における情報提供の充実および多角的な議論の活性化を目指し、サステナビリティ推進委員会を活用する。